資　料　３

市長等に対するヒアリング結果

ヒアリングの概要

実　施　日	令和８年８月19日(水)・20日(木)	
場　　所	弥富市役所	
対　象　者	安藤弥富市長	村瀬副市長
	前建設部長	職員９名
聞き取り者	８月19日	上松外部委員（弁護士）
	８月20日	石黒外部委員（弁護士）

市長へのヒアリング結果①

○事件の原因をどう考えているか

・組織だった事件ではないため、前建設部長個人に問題があったと認識しているが、事務のあり方などで改善可能な部分があると考えている。

○事業者等から市長に予定価格等を教示するよう求められたことがあるか

・事業者等の中には後援会の役員もおり、後援会活動はやってもらっているが、その見返りとして予定価格等を聞かれたことはない。

市長へのヒアリング結果②

○事業者等と市長の関係性はどのようであったか

- 事業者等とは土地改良区の職員の頃からの知り合いで、気軽に会話をする関係である。普通にという意味で仲良くさせていただいている。
- 市長就任以降、防災面を始めとしてボランティア的な意味で様々なお願いをしたり、政治家としても、選挙の際に支援はしていただいているが、そのことに対して見返りを求められたことはない。私自身として、事業者等に感謝の気持ちはあるが、負目があるとは感じていない。支援者からも応援したメリットがないと言われるくらいである。
- 前建設部長が自分と事業者等の関係を損ねないように考えていたかまでは分からないが、建設部をうまく回そうと考える中で起きた事件ではないか。

市長へのヒアリング結果③

○前建設部長を建設部長に抜擢した目的は何か

- 財政課長を経験し、市の財政状況が厳しいことをよく理解しており、さらに、建設部の経験が長く、また、土木施工管理士資格を有しているため、設計の段階からコストカットをしてくれると期待した。
- 仕事ぶりもよく、早くて、丁寧、一生懸命に取り組んでおり、また、人間性も悪くなく、仲間もいて、部下にも慕われており、何も問題がなかった。
- 抜擢と言われるが、少し早い程度という認識であり、それよりも改善を期待して、年功序列にとらわれずに建設部長に配置した。
- 本人がプレッシャーを感じないよう、配置理由は本人に伝えていない。
- 前建設部長が予定価格等を教示していたとは全く思っていなかった。

市長へのヒアリング結果④

○入札プロセスへの市長の関与や、入札結果に対する違和感はあったか

- 設計金額については、金額が２００万円超のものは市長が決裁するため、予算執行伺いの決裁時点で把握することになる。
- 指名競争入札の指名業者等は、副市長を委員長とする指名審査委員会の合議で決定されるもので、決定プロセスに市長は関与しない仕組みとしており、選定結果等の報告を受けることもない。
- 落札率は、適正に設計金額が積算されていれば、事業者側の判断の結果そうなるのであって、違和感を感じるものではなく、予定価格等の漏洩等とは分けて考えるものだと理解している。
- その意味で、弥富まちなか交流館リニューアル工事の落札率は高いと言えるが、相当、厳格に設計金額が積算されたと認識していた。

市長へのヒアリング結果⑤

○入札不調についてどのように考えているのか

・入札不調なら再入札すればよく、職員に何か言ったり注意することもない。

・そもそも、事務の迅速化・効率化等のため、弥富市決裁規程で、契約は基本的に副市長以下の専決としており、入札に関して指示を行うことはなく、契約締結後に財政課から毎月報告がある。

○再発防止等に向けてどう考えているのか

・一日も早く、弥富市は変わったと思っていただくためには、職員の協力が絶対に必要であり、そのためには、風通しの良い職場環境にしていきたい。

・最後は個人の問題で、本人の自覚になるが、組織だって互いに注意しあえる関係が再発防止に繋がると考えている。

副市長へのヒアリング結果①

○事件の原因をどう考えているか

・判決結果からすれば、前建設部長個人の資質の問題になると考えている。

○事業者等から予定価格等を教示するよう求められたことがあるか

・ない。

○事業者等と副市長の関係性はどのようであったか

・直接やり取りするようなことがなく、負目を感じたことはない。
・職員の処遇に対する圧力のようなものを受けたこともない。

副市長へのヒアリング結果②

○前建設部長を建設部長に配置した経緯はどうであったか

- 前建設部長の財政課長や建設部での経験、技師としての能力を期待して任命した。

○副市長として前建設部長をどう評価していたか

- 仕事に一生懸命取り組み、結果を残しており、評価していた。人格的にも能力的にも将来の弥富市を背負ってくれると思っていた。
- こんな事件を起こす人物だとは誰も考えていなかった。

副市長へのヒアリング結果③

○入札プロセスや、入札結果に対する違和感はあったか

・指名業者等は、私を委員長とし、部長等で構成する指名審査審査会において決定するが事業担当課の提出資料を基に粛々と進めており、プロセスに違和感はない。

・指名業者等の選定に関して、前建設部長が、特別、意見することもなかった。

・弥富まちなか交流館ﾘﾆｭｰｱﾙ工事は落札率が高いとは感じたが、それよりも事業者が決まってよかったという思いで、疑わしい事態が起きているとは思わなかった。

○前建設部長と事業者等との関係性が近いと感じることはあったか

・立場上、事業者等と接する機会が多く、他の職員と比べれば関係が近くはなるが、前任の建設部長と比較して特に関係が近いとは感じなかった。

・私自身、弥富市建設業協力会とは役員の交代時に挨拶する程度の関係であり、前建設部長との関係で何か把握できるようなことはなかった。

副市長へのヒアリング結果④

○入札不調についてどのように考えているのか

- 入札不調は工期に影響が及び、小学校や保育園の工事などは開校日・開所日が決まっており、市民への影響が大きく、確実に落札者が決まってほしいとは思うが、今回の事件のような工事は、市民にそこまで重大な影響が及ぶものではなく、苦にするものではない。
- 入札不調であることをもって評価を下げることはないし、今回の件では、自分の部署の所管外のことで評価が下がると考えること自体が分からない。

○再発防止等に向けてどう考えているのか

- どんなに仕組みや体制を整えても、個人の意識が低ければ解決できない。
- こういう事件を起こせば、本人は一生を失い、家族や職場にも迷惑がかかることを職員が理解することが第一だと思う。危ういことに対し、職員がしっかりと断れるよう、研修の充実や、組織体制の強化を行う必要があると考えている。

前建設部長へのヒアリング等

- 前建設部長に係る事件の判決確定後、前建設部長に対してヒアリングの実施及び訴訟関連資料の提供を書面により求めた。
- 前建設部長から、ヒアリングには応じられない旨、書面により回答があった。
- また、訴訟資料として起訴状（写）が提出された。判決書は保有しておらず提出できない旨、書面により説明があった。
- 検討委員会による調査に強制力はないこと、裁判結果により事件の要点である動機等は捕捉可能であることなどから、本人に対する調査は以上で終了することとした。

職員への主なヒアリング事項

◇事件の原因・背景に対する見解

◇前建設部長と事業者等との関係性に対する認識

◇前建設部長に対する評価等

◇事業者等から情報提供を求められた経験の有無

◇事業者等と職員の関係性についての認識

◇入札不調による影響についての認識

職員へのヒアリング結果①

事件の原因・背景に対する見解

・前建設部長と事業者との関係が近くなりすぎた。
・前建設部長個人の性格の問題。
・早くに建設部長に抜擢されたことでプレッシャーがあったのではないか。
・入札不調となり、工期が遅れることへの危機感があったのではないか。
・分からない。

前建設部長と事業者等との関係性に対する認識

・前建設部長が事業者等に対して予定価格等を教示していたと認識していた者はいない。
・少なくとも、市役所庁舎内において、前建設部長と事業者が特別に緊密なやり取りしているとの様子はない。

職員へのヒアリング結果②

前建設部長に対する評価等

・真面目で勉強熱心、一生懸命に仕事をしていた。
・面倒見が良い親分肌、人を引っ張っていくタイプ。
・予算節減意識が高く、予定価格の積算では設計内容に関し強く指導することがあった。

事業者等から情報提供を求められた経験の有無

・弥富市建設業協力会会長（当時）から指名業者等を聞かれたことがあるとした者が２名いた。
　→毅然と断り情報提供はしていない。当該２名は、そのことで人事上の不利益があったとは考えていない。
・個別の事業者等から情報提供を求められた経験がある者はいない。

職員へのヒアリング結果③

事業者等と職員の関係性についての認識

・ヒアリング対象者自身のことではないが、職員の中には、事業者等に負目を感じ、要望を断りにくい場合があるのではないか。

【負目を感じる理由】
- ○ 発注者・受注者の関係にとどまらず、防災活動・ボランティア活動等で市政に協力している
- ○ 施工当初は想定していない事項に関して追加費用なく対応させること等がある
- ○ 災害時・降雪時などの緊急時に柔軟かつ優先的に対応（協力）してもらっている

・事業者等との関係性が自身に対する人事評価等に影響を与えたと考えている者はいない。なお、噂として聞いた者が数名いるが、人事異動の結果などから推測したもので、真偽は定かでないとしている。

職員へのヒアリング結果④

入札不調による影響についての認識

・当初設計金額が良くない、積算に間違いがあったなど悪く受け止められてしまう。
・工期の短縮につながり年度内に工事を完了することができなくなることが危惧される。
・設計の見直しが必要となり、その結果、当初予定以上の財政負担が生じる。

その他

・関係のない他部署の案件に関して、何故、このような事件になったのかが分からない。
・特定の職員が、事業者等と数年に渡り関係を有するような人事配置に問題がある。
・入札制度自体に問題はない。
・こういった事件があったことを職員が忘れないことが重要だと思う。
・研修等を通じ、こうした事件が本人や家族・職場等にどのような影響を及ぶすのかを含めて、定期的・継続的に職員の自覚を促す取組が効果的だと思う。

ヒアリング結果(総括) ①

1　事件の原因・背景に対する見解

- 市の組織体制や入札制度が引き起こした事件と認識している者はいない。
- 前建設部長個人の問題であるとの認識で一致している。

2　前建設部長と事業者等との関係性に対する認識

- 前建設部長と事業者等間に不審な点はなく、関係性に疑念等を抱いていた者はいない。

3　前建設部長に対する評価等

- 前建設部長に対する人事に関し、経験・能力等に期待したとする市長の説明について、副市長も同様の説明をしており整合性がある。
- 他の職員も前建設部長の能力を認めており、市長等の説明に不合理な点はない。

ヒアリング結果(総括) ②

4　事業者等から情報提供を求められた経験の有無

- 市長・副市長からは、選挙支援や市政への貢献の見返りとして、事業者等から情報提供を求められたことはないとの説明がされ、市長の関与が限定的である市の入札制度や、職員アンケート・ヒアリング結果からして、事実であると推認される。
- ヒアリング対象者は、事業者等から情報提供を求められても拒否すれば良いと認識しており、事業者等に対して過剰に配慮するような意識は見受けられない。
- 事業者等から情報提供を求められた職員がいるが、毅然と拒否して以降、執拗に要求されてはいない。なお、当該職員は、事業者等から何かの見返りとして求められたとまでは考えておらず、拒否したことで職務上・人事上の不利益があったとは認識していない。

人事への影響について

- 事業者等から人事に関する要求はないとする市長・副市長の説明及び職員アンケート・ヒアリング結果から、事業者等との関係が人事に影響を及ぼした事実はないと推認される。
- 一部の職員は、人事異動の結果から根拠なく憶測し、噂にしていると考えられる。

ヒアリング結果(総括) ③

5　事業者等と職員の関係性についての認識

- 市長・副市長は事業者等に対して負目はないとしており、職員アンケート・ヒアリング結果においても市長等との関係性を忖度して事業者等に負目を感じている職員はおらず、説明に不合理な点はないことから、事実であると推認される。
- 今回のヒアリング対象者の中に、事業者等との良好な関係構築を意識して要求を断ることができないとする職員はいない。
- 工事の施工に関して当初予定外のこと等が生じた際は、必要に応じ変更契約の締結等をすればよく、事業者等に負目を感じないようにすることは当然と理解されている。
- 一方で、職員の中には事業者等に負目を感じており、要求を断りにくい者がいるのではないかと推測する意見があった。
- 防災対策やボランティア活動等に対する事業者等の貢献を意識する場合があるとの意見が散見された。

ヒアリング結果(総括) ④

6　入札不調による影響についての認識

- 職員は、入札不調の事実そのものの印象が悪いことや、工期への影響、当初想定以上の財政負担が生じることを懸念・危惧している。
- 入札不調が人事評価に影響すると考えている職員はおらず、入札不調を理由に職員を注意することはなく、人事評価にも影響しないとする市長・副市長の説明とも整合する。

7　入札結果に対する認識

- 弥富市でも官製談合が起こり得るとの意識が低かったこともあり、官製談合が行われている可能性や、事業者等に対する談合抑止策の必要性を意識していた職員はいない。
- 落札率は事業者の判断による入札額と市の設計金額との結果であり、市に法的な調査権がない中で落札率だけで官製談合を疑うことは適当でなく、その意味において違和感はないとした市長の認識に誤りがあるとは言えない。